

II. 研究教育関係

1. 演習林教職員及び演習林利用による研究成果

発表者氏名	表題	誌名	巻・(号)	頁	年・月
嵯元 道德	北方針広混交林におけるトドマツ若木のアーキテクチャーの可塑性 発達と相対生長関係	京大演報	68	1-8	1996.12
坂野 上なお	産直住宅ネットワークにおける木材供給システム	京大演報	68	77-88	1996.12
枚田 邦宏・竹内 典之	芦生演習林のレクリエーション利用について	京大演報	68	89-99	1996.12
尾形 善之・野淵 正 藤田 稔	An analysis of the seasonality of wood formation in cinnamon trees and eucalyptuses by knife-cutting method	京大演報	68	116-126	1996.12
山本 俊明	森林作業に於ける作業者の労働強度	京大演集報	30	1-9	1997.2
実験施業林研究 グループ	芦生実験施業林択抜後の回復過程	京大演集報	30	10-24	1997.2
安藤 信・田中 壮一 山本 俊明	京都大学本部試験地見本園の樹木目録	京大演集報	30	25-58	1997.2
二村 一男・中島 皇 山中 典和	芦生演習林における野生動物の目撃記録	京大演集報	30	59-72	1997.2
光枝 和夫・山内 隆之 紺野 絡・平井 岳志 藤本 博次・田中 弘之 金子 隆之	上賀茂試験地の自生植物目録 (I) -木本-	京大演集報	30	73-81	1997.2
平井 岳志・光枝 和夫 田中 弘之・紺野 絡 山内 隆之・藤本 博次 金子 隆之	上賀茂試験地の種子標本リスト	京大演集報	30	82-107	1997.2
上中 幸治・羽谷 啓造 上中 光子・安藤 信	京都大学白浜試験地植栽のユーカリ類の生育状況	京大演集報	30	108-126	1997.2
山内 隆之・光枝 和夫 古野 東洲	間伐されたモミジバフウ林のリターフォールについて	京大演集報	30	127-134	1997.2
神崎 康一・竹内 典之 高柳 教・長谷川 尚史 牧瀬 明弘・境 慎二朗 藤井 弘明・石井 弘明	野外教育研究施設の運営と大学演習林 ーラ・セルバ生物学ステーション視察報告ー	京大演集報	30	135-149	1997.2
内田 太郎・小杉 賢一朗 大手 信人・水山 高久	パイプ流が斜面安定に与える影響	水文水資源学 会誌	9(4)	330-339	1996.7

発 表 者 氏 名	表 題	誌 名	巻・(号)	頁	年・月
内田太郎・小杉賢一朗 大手信人・水山高久	谷頭部における飽和地下衰退の形成とパイプ流の関係	日林論	107	359-360	1996.12
坂野上なお	「産直」住宅と異業種間ネットワーク	日林論	107	49-52	1996.10
内田太郎・小杉賢一朗 水山高久	谷頭部における飽和地下衰退の形成とパイプ流の関係	日林講演要旨集		259	1996.4
森本淳子	異なる光環境におけるコバノミツバツツジの開花のメカニズム -芽の動態からの解析-	日本造園学会開支大会要旨		44-45	1996.10
森本淳子・武田博清	異なる光環境下におけるコバノミツバツツジの樹冠の動態	日林講演要旨集	108	131	1997.4
内田太郎・小杉賢一朗 水山高久	山地源流域における地下水位、パイプ流量、流域流量の観測	水文・水資源学会研究 発表会要旨集		150-151	1996.8
岸田多代・片山幸士	各種林分における降水、樹幹流および樹冠通過雨の化学的性質	環境科学会講演要旨集		90-91	1996
岸田多代・片山幸士	森林内における降雨の水質変化について	日本化学春季年講演予稿集		136	1996
森本淳子・丸山 宏 柴田昌三	異なる光環境に生育するコバノミツバツツジの開花のメカニズム	ランド・スケープ研究	60(5)	485-488	1997.3
山中典和・永益英敏 梅林正芳	芦生演習林産樹木の実生形態6. クスノキ科、クロタキカズラ科 クロウメモドキ科	植物地理・分類研究	44	25-42	1996.12
山中典和・高谷加寿子 川那辺三郎	アシウスギ・ブナ混交林における樹木の枯死形態と枯死要因	日林誌	79	14-21	1997.2
J. Takada, K. Nishimura, T. Sumino, Y. Tanaka and M. Akaboshi	Correlation between Lanthanide Contents in Fern Leaves	Toxicologic- al and Env- ironmental Chemistry	58	133-141	1997
Jitsuya Takada, Kazuo Nishimura, Mitsuhiko Akaboshi, Takashi Matsubara, Yukio Katayama and (late) Mutsuo Koyama	Element content in number of plant leaves and accumulation of some elements in typical plant species.-A case of Okayama Pre- fecture-	Journal of Radioanalyt- ical and Nu- clear Chemi- stry	217(1)	65-70	1997
川那辺三郎・安藤 信	樹下植栽されたヒノキの成長-上木の伐採による成長の変化-	日林論	108	259-260	1997.12

発表者氏名	表 題	誌 名	巻・(号)	頁	年・月
X. Ma・Y. FUKUSHIMA・ T. NAKASHIMA	A Simple Distributed Hydrological Model and Its Scale Change	Proc. International Workshop on Microscale Hydrologic Modeling, Nanjing,		31-34	1996
長谷川元洋	Carbon and nutrient dynamics in decomposing pine needle litter in relation to fungal and faunal abundances	Pedobiologia	40(2)	171-184	1997.3
森 哲・鳥羽通久	Observations of agonistic behavior between males of <i>Elaphe quadrivirgata</i> : Confirmation of male combat	日本爬虫両棲類学雑誌	17(1)	11-15	1997.6
濱本なお	関東住宅市場の動向	尾鷲ヒノキ市場及び販路拡大調査企画分析報告書		1-18	1997.3
柴田昌三	イギリスにおけるタケ類の苗の生産	Bamboo Journal	13	43-55	1997.2
伊藤亜希子・柴田昌三	住宅地における生垣の変遷について	日本造園学会論文要旨		16-19	1996.10
柴田昌三	竹林の管理状態と緑の効果	全国竹産業連合会全国大会	37	6-9	1996.10
柴田昌三	京の風致林	京都府大学報	70	3-4	1996.12
柴田昌三	竹と笹	趣味の園芸	286	26-32	1997.1
柴田昌三	竹林の持つ環境的価値とその管理	竹(竹文化振興協会誌)	60	1-4	1997.2
國友淳子・齋藤秀樹	コナラの花および堅果数とその枝直径の関係	京都府大学報	48	49-53	1996.12
國友淳子・齋藤秀樹	斜面上の位置および樹齢の違いによるコナラ種子生産への乾物投資量の比較	日林論	107	437-440	1996.12
高原 光	原生林に対する攪乱の歴史とその影響に関する花粉分析学的研究	科研報告書			1997.3
内田太郎	パイプの存在する山腹斜面における降雨流出過程に関する研究	修士論文		1-95	1997.1
森本淳子	コバノミツバツツジの開花のメカニズムと開花数の予測	修士論文		1-41	1997.3
李 裕基	人為的に傾斜させた数種の広葉樹の幹に形成される木部の構造	修士論文			1997.2
大野清三	木材細胞壁における縮合型及び非縮合型リグニンの分布 -ニトロベンゼン酸化後のヒノキ材細胞壁の構造-	修士論文			1997.2
林 陽子	ウスノキの樹冠形成	卒業論文			1997.3
鈴木 新	サカキ・ヒサカキの光利用様式	卒業論文			1997.3
大園享司	ブナ落葉の分解過程	卒業論文			1997.3
土居京子	軽架線集材による残存木損傷に関する研究	卒業論文			1997.3
國友淳子	コナラおよびミズナラの有性繁殖のコストに関する生産生態学的研究	修士論文			1997.1

2. 科学研究費によって行われた研究

教官名	研究種目	研究課題	研究代表者	研究代表者所属
川那辺三郎	基礎研究(A)(1)	森林地域における酸性降下物の広域比較	川那辺三郎	森林科学専攻
竹内典之	基礎研究(B)(2)	攪拌型融雪雨量計に関する試験研究	竹内典之	芦生演習林
寄元道徳	基礎研究(C)(2)	森林下層における林冠木種の樹冠の形態、 動態と維持様式の解析	寄元道徳	芦生演習林
長谷川尚史	萌芽的研究	航空写真の色情報に基づいた森林管理計画 に関する研究	長谷川尚史	和歌山演習林
中西麻美	奨励研究(A)	森林と裸地における物質収支バランスの差異 に関する研究	中西麻美	演習林本部

3. 演習林利用状況

イ. 学生実習

芦生演習林

平成8年度

期 間	大学・学部・学科	実習科目名	延人数	備 考
H.8.7.8 ~ 7.13	京大・農・林学	森林生態実習	168	
H.8.7.17 ~ 7.19	京大・農・林学	森林計測実習	102	
H.8.9.2 ~ 9.6	京大・農・林産工学	林産工学実習	186	
H.8.7.7	京大・総合人間学部 人間学部国際文化学科	森林植生観察実習	8	
H.8.7.22 ~ 11.10	京大・総合人間学部 人間学部自然環境学科	生態学野外調査 実習	52	
H.8.10.10 ~ 10.12	京大・大学院 人間環境学研究所	生物共棲論実習	36	
H.8.6.8 ~ 6.9	東南アジア研究センター	生態環境実習	14	

北海道演習林

平成8年度

期 間	大学・学部・学科	実習科目名	延人数	備 考
H.8.7.23 ~ 7.25	京大・農・生産環境学科	演習林実習 I	110	
H.9.2.23 ~ 3.1	京大・農・生産環境学科	演習林実習 II	54	自主参加

和歌山演習林

平成8年度

期 間	大学・学部・学科	実習科目名	延人数	備 考
H.8.10.14 ~ 18	京大・農・林学	森林作業実習	80	

本部試験地

平成8年度

期 間	大学・学部・学科	実習科目名	延人数	備 考
H.8.5.8・6.5	京大・農・林学	樹木学及び実習	46	
H.8.4.17	京大・農・林学	樹木実習	21	
H.8.5.28	京大・農・林産工学	樹木識別実習	32	
H.8.4.24	京大・農・農業工学	土壌三相分布測定	29	
H.8.4.24	京大・農・食品工学	食品有機化学実験	40	

期 間	大学・学部・学科	実 習 科 目 名	延人数	備 考
H.8.4.15 ~ 4.17	京大・農・農芸化学	土壌学実験及び 実験法	144	
H.8.4.20	京大・農・森林科学専攻	野外実習	70	
H.8.7.3	京大・農・演習林	樹木識別実習	33	
H.8.6.12	京大・農・農業工学科	土壌物理学実験法及び実験	27	
H.8.12.5	京大・農・林業工学科	林業機械実習	20	
H.8.6.11	京大・農・林産工学	樹木識別実習	35	
H.8.5.17	京大・農・農林生物	農林生物学実習Ⅲ	16	
H.9.1.9	京大・農・森林生物	林学実習	19	
H.8.4.13	京大・農・森林科学専攻	新入生ガイダンス	105	
H.8.4.17・4.25	京大・理学研究科動物生態学研究室	生物学実習	87	
H.8.10.7 ~ 9	京大・理学研究科生物学専攻	動物生態学実習	19	
H.8.5.24	京府大・農・林学	森林植物学実習	33	

ロ. 研究等利用状況

平成8年度 延人数 単位:人

演習林・試験地	実習の利用	研究の利用	備 考
芦 生 演 習 林	1,080	1,953	実習のうち他学は 514
北 海 道 演 習 林	409	311	実習のうち他学は 245
和 歌 山 演 習 林	80	733	
本 部 試 験 地	168	256	
上 賀 茂 試 験 地	608	650	
白 浜 試 験 地	0	330	
徳 山 試 験 地	0	31	
計	2,345	4,264	

ハ. 一般利用

演習林・試験地	一般の利用	備 考
芦 生 演 習 林	11,723	ハイキング等 6,054 人含む
北 海 道 演 習 林	260	
和 歌 山 演 習 林	91	
本 部 試 験 地	0	
上 賀 茂 試 験 地	162	
白 浜 試 験 地	70	
徳 山 試 験 地	87	
計	12,393	

4. 公開講座等

○芦生演習林公開講座の開催

平成8年8月1日（木）～3日（土）までの3日間の日程で、芦生演習林において公開講座「森のしくみと働きー芦生演習林への招待ー」を開催した。

この講座は、一般市民を対象に演習林教官による芦生の自然と森林と人間の関わりについての講義、また森林を構成する樹木の分類法、動物の生態等実習を含め森林、自然を理解するための基礎的知識から森林のもつ資源生産、公益的機能までを解説するものである。今回は5回目であり、講座の第1日と第3日は講義にあて、第2日は森林内での実習を行い、52名が受講した。

なお、今回の参加希望者は主に京阪神地区から116名の申し込みがあり、一般市民の森林に対する関心の高さがうかがえる。

○北海道標茶高等学校の巡検学習

9月3日、4日に各日1クラス、普通科3年の生徒76名と教諭5名が来演した。今回で理科の巡検としては3回目（通算4回目）になる。内容は事務所での概要説明、6～7人の班に分かれて学術参考林での自然観察・樹木識別実習、カラマツ人工林での伐採作業である。生徒の感想としては木の名前が解るようになったり、天然林の大木に触れたり、自分達で苦勞して倒した木の年輪を数えたりとそれぞれに得るものがあったようである。

○自然観察ボランティア養成講座

平成8年8月8日、平成8年度生涯学習ボランティア活動総合推進事業「自然観察ボランティア養成講座」の一環として、和歌山演習林において「世界の自然」と題する和歌山演習林長大畠教授による講義と、演習林教官、技官による実地研修が行われた。本講座は青少年のための自然教室等を企画、指導できる自然観察ボランティアを養成することを目的として、和歌山県および和歌山県教育委員会の主催により毎年行われているもので、平成8年度は有田地方教育事務所の主管により有田地方において開催された。演習林の講座では森林観察を担当したが、標高差が激しく3つの森林帯にまたがる和歌山演習林の特長を生かした、内容の濃い研修が行われた。参加者は森林を観察する上でのポイントとなる点について興味深く聞き入っていた。今後、演習林としても直接の森林教育だけでなく、その教育者の養成も欠かせない要素となることが予想される。

○森林利用学会

平成8年11月15～17日、清水町において森林利用学会研究発表会が開かれた。この学会は毎年東京大学において開催されているものであるが、平成8年度は林業機械の実演会を兼ね、清水町の協力により行われた。15日は和歌山演習林内において、和歌山演習林が所有するパワーショベルを改造したスウィングヤーダによる間伐材の集材作業の見学会が行われた。この機械は演習林長である神崎教授が発案したもので、既存のパワーショベルを改造した様々な作業に応用できる簡易集材機として参加者の興味を惹き、活発な議論が交わされた。翌16日は清水町文化センターにおいて研究発表会が開催され、一般の参加者との討論も行われた。最終日17日は清水町八幡財産区有林において、国内林業機械メーカー8社によるタワーヤーダ主体の林業機械実演会が行われた。この実演会には演習林のスウィングヤーダも出展し、演習林技官による集材作業が一般に公開された。三日間の参加者、見学者数はのべ約400人であった。

このような大規模な学会への協力は本演習林としては初めての試みであったが、研究者や地域住民の反応はおおむねよく、産官学および一般人の架け橋としての演習林の役割と責任の重大さを再認識する結果であった。

○第3回京都大学農学部附属演習林技術職員研修(密度管理)

平成8年10月1日から10月4日まで4日間の日程で、財団法人阪本奨学会杉谷山林（奈良県吉野郡東吉野村杉谷）を主会場に、第3回京都大学農学部附属演習林技術職員研修を実施した。

この研修には、北海道大学、東京大学、静岡大学、鹿児島大学、宮崎大学からの10名を含む19名が受講した。受講者の年齢は22歳から59歳と幅広い年齢層の技術職員が受講した。研修の内容は、人工林の造成課程において重要な意味をもつ密度管理について、生産目標と密度管理との関連を林分密度管理図を用いて、密度管理の理論と間伐計画の進め方及び収穫量の予測方法などの講義を受けた後、受講者は、3班に分かれて実際に現地にプロットを設定、毎木調査を行い、その資料にもとづいて立木密度及び林分材積を推定し、間伐木の選定等の実習を行った。この後、「生産目的と間伐計画について」各班ごとにレポートを作成し発表した。森林の造成には、植栽から伐期に至るまで多くの技術を投入する育林課程の中で、林分を健全に維持しながら生産目標を達成するために重要な意味をもつ密度管理の基礎理論及びプロットの設定方法、林分密度と林分材積の推定、間伐木の選定等の技術を取得することにより、今後の森林管理や施業の円滑な遂行に役立つものと期待される。

また、各大学演習林の情報交換や吉野林業の施業技術などについて、活発に話し合いが行われ有意義であったと好評であった。

日程はつぎのとおりである。

第3回 京都大学農学部附属演習林技術職員研修(密度管理) 日程表

		8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
10月1日(火)							受付	開オリ 講エシ ンヨン 式	阪本奨学会杉谷山林へ移動 「吉野林業について」 講義 農学部附属演習林教授 竹内 典之			入浴	夕食 (懇親会)	
10月2日(水)	朝 自主 研修	講義「人工林の密度管理の理論と応用」 農学部森林科学専攻教授 川那辺 三郎				昼食	実習「森林調査」 調査林分の設定、毎木調査 農学部森林科学専攻教授 川那辺 三郎 農学部附属演習林教授 竹内 典之			入浴	夕食 食	自主研修		
		実習「森林調査」 毎木調査、間伐木の選定 農学部森林科学専攻教授 川那辺 三郎 農学部附属演習林教授 竹内 典之				昼食	実習「森林調査」 間伐林分の現況調査 農学部森林科学専攻教授 川那辺 三郎 農学部附属演習林教授 竹内 典之		レ ア ポ ン ケ ー ト ト	閉 講 式	入浴		夕食 食	
10月4日(金)	食	現地研修「吉野林業」 川上村の林業について 農学部附属演習林教授 竹内 典之				昼食	京大へ移動		京大着解散					

5. 刊行物

- 京都大学農学部附属演習林報告第68号 (平成8年12月6日発行)
- 京都大学農学部附属演習林集報第30号 (平成9年2月28日発行)
- 京都大学農学部附属演習林演研(第四号) (平成9年3月25日発行)
- 平成7年度 演習林年報 (平成8年8月14日発行)

6. 研究資料

氣象觀測

平成 8 年

芦生演習林

月	気 温 °C								湿度 (%)	降 水 量 mm			積 雪 量		霜 雪 季 節	
	平 均	平 均			極					総 計	最 大		最 大 cm	日	初 雪	初 霜
		最 高	最 低	較 差	最 高	日	最 低	日			24時間	日				
1	0.8	4.3	-2.1	6.4	9.2	14	-9.2	28	98	225.5	30.5	26	125	27		
2	-0.3	3.9	-4.3	8.2	9.9	14	-11.3	8	95	203.5	34.5	10	132	22		
3	4.0	8.4	-0.1	8.5	18.2	30	-6.2	4.7	88	196.0	43.5	15	101	05/06/12	11/29	11/23
4	9.3	13.8	1.1	12.7	26.3	29	-3.6	14	77	53.5	15.5	16	5	12		
5	16.5	20.0	7.9	12.1	28.9	26	2.3	15	74	139.0	44.0	22				
6	20.6	23.6	15.1	8.5	28.7	16	6.3	6	84	198.0	40.0	25				
7	24.0	28.1	18.1	10.0	32.7	31	13.4	13	85	105.5	38.5	20			終 雪	終 霜
8	25.2	28.9	18.4	10.5	35.1	3	14.8	21	82	289.0	138.0	28				
9	20.3	23.7	14.9	8.8	28.5	6	8.7	28	92	230.5	57.0	22				
10	15.9	19.9	9.9	10.0	24.8	25	4.6	27	95	221.5	42.5	26			4/5	4/22
11	10.0	14.2	6.1	8.1	21.0	5	-1.3	30	97	145.5	21.5	1				
12	1.2	6.6	-1.7	8.3	11.5	17	-5.8	7	93	196.5	47.0	2	25	2		
全 年	12.3	16.3	6.9	9.3	35.1		-11.3		88.3	2204.0	138					

平成 8 年

北海道演習林 (標茶区)

月	気 温 °C								湿度 (%)	降 水 量 mm			積 雪 量		霜 雪 季 節	
	平 均	平 均			極					総 計	最 大		最 大 cm	日	初 雪	初 霜
		最 高	最 低	較 差	最 高	日	最 低	日			24時間	日				
1	-10.0	-1.2	-15.4	14.2	4.5	3	-27.5	31	85	22.5	10.5	3				
2	-8.9	-0.9	-16.3	15.4	5.5	26	-31.7	1	85	6.0	3.5	6				
3	-1.8	2.8	-8.9	11.7	12.0	18	-20.0	13	73	59.5	11.0	22			10/27	10/17
4	4.6	8.9	-3.0	11.9	21.0	24	-8.5	14	62	14.5	4.0	18				
5	8.9	12.7	1.7	11.0	27.0	30	-5.0	8	71	235.0	73.0	23				
6	13.7	17.2	7.2	10.0	25.0	10	-1.5	1	78	0.0	0.0	0				
7	17.3	20.8	13.6	7.2	29.5	29	8.0	7	87	0.0	0.0	0			終 雪	終 霜
8	17.9	21.8	13.5	8.3	29.5	14	6.0	25	85	70.0	22.5	23				
9	15.9	19.6	9.6	10.0	23.5	8	2.0	30	81	212.0	46.0	18				
10	10.1	15.0	2.9	12.1	20.5	1	-4.5	28	79	81.0	38.0	4			5/15	*
11	1.7	7.3	-4.9	12.2	14.0	6	-12.5	14	80	79.0	26.5	28				
12	-4	2.1	-8.9	11	7.5	17	-15.5	22	85	24.5	6	17	4	28		
全 年	5.5	10.5	-0.7	11.3	29.5		-31.7		79.3	804.0	73		4			

* 終霜 欠測

平成 8 年

北海道演習林（白糠区）

月	気 温 ℃								湿度 (%)	降 水 量 mm			積 雪 量		霜 雪 季 節	
	平 均	平 均			極					総 計	最 大		最 大 cm	日	初 雪	初 霜
		最 高	最 低	較 差	最 高	日	最 低	日			24時間	日				
1	-7.2	-1.0	-13.1	12.1	3.0	12	-23.0	25	63	39.0	16.5	21	45	29		
2	-6.6	0.0	-13.6	13.6	6.5	26	-25.0	1	61	37.5	26.5	5	56	5		
3	-0.3	3.2	-7.5	10.7	10.0	29	-16.0	7	46	64.0	17.0	30	42	23	11/13	*
4	5.1	8.7	-2.8	11.5	20.5	24	-11.5	13	47	11.0	4.5	11	10	1		
5	8.6	11.4	2.1	9.3	27.0	30	-3.5	17	57	242.5	104.5	23	10	10		
6	13.2	16.0	7.2	8.8	23.5	29	-1.0	1	63	87.0	21.5	18				
7	17.5	20.1	13.5	6.6	28.0	29	9.0	1	73	102.5	35.5	11			終 雪	終 霜
8	17.3	20.5	13.4	7.1	27.0	14	7.0	28	71	105.5	29.0	23				
9	15.6	19.1	10.4	8.7	23.5	26	2.0	28	69	203.5	38.5	9				
10	10.6	14.7	3.9	10.8	19.5	1	-3.5	28	60	44.5	32.0	4			5/16	*
11	2.8	7.1	-3.4	10.5	13.0	5	-12.0	14	56	62.5	23.5	27				
12	-4.4	1.7	-7.7	9.4	6.5	4	-15.0	31	66	25.0	14.0	23				
全 年	6.0	10.1	0.2	9.9	28		-25.0		61.0	1024.5	104.5		56			

* 初霜・終霜 欠測

平成 8 年

和歌山演習林

月	気 温 °C								湿度 (%)	降 水 量 mm			積 雪 量		霜 雪 季 節	
	平 均	平 均			極					総 計	最 大		最 大 cm	日	初 雪	初 霜
		最 高	最 低	較 差	最 高	日	最 低	日			24時間	日				
1	0.6	4.9	-1.7	6.6	14.6	15	-6.7	27	73	123.5	37.0	15	10	10		
2	-0.4	5.7	-3.0	8.7	16.5	14	-7.6	11	67	79.5	11.5	26	18	2.3		
3	5.1	11.1	0.6	10.5	17.6	31	-4.7	6	55	374.0	93.0	30	5	12	11/30	11/14
4	8.3	14.3	2.6	11.7	25.3	29	-2.6	13	48	105.5	41.0	15	1	4		
5	15.5	21.4	9.8	11.6	27.7	26	4.0	7	56	129.5	33.0	22				
6	19.3	23.2	15.9	7.3	29.2	16	8.0	6	84	295.5	121.0	18				
7	21.5	27.2	18.1	9.1	32.1	25	13.9	12	85	350.5	113.5	20			終 雪	終 霜
8	21.8	27.7	18.8	8.9	31.8	19	16.3	1	73	245.0	150.0	15				
9	18.3	23.3	14.7	8.6	28.4	3	7.8	28	87	127.5	59.5	30				
10	13.5	19.2	9.4	9.8	23.2	11	2.1	27	61	108.0	28.0	12			4/12	4/5
11	9.1	13.5	4.9	8.6	21.8	9	-0.9	14	89	93.0	35.0	27				
12	2.8	6.7	0.0	6.7	14.6	5	-3.3	7	73	179.0	84.0	5				
全年	11.3	16.5	7.5	9.0	32.1		-7.6		70.9	2210.5	150		18			

平成 8 年

上賀茂試験地

月	気 温 °C								湿度 (%)	降 水 量 mm			積 雪 量		霜 雪 季 節	
	平 均	平 均			極					総 計	最 大		最 大 cm	日	初 雪	初 霜
		最 高	最 低	較 差	最 高	日	最 低	日			24時間	日				
1	2.5	8.0	-0.6	8.6	13.5	15	-4.0	27	70	36.5	21.0	15	12	1		
2	5.0	7.8	-1.7	9.5	20.5	14	-6.0	2	56	20.0	13.0	25	18	10		
3	7.1	11.0	0.6	10.4	16.0	14.16	-3.5	24	61	170.0	37.0	15	8	5	12/1	12/9
4	7.3	14.9	2.1	12.8	26.0	29	-4.0	11	66	43.5	20.0	16				
5	15.4	20.5	8.3	12.2	28.5	17	2.0	12	64	106.0	39.0	22				
6	*	*	*	*	*	*	*	*	*	243.0	43.5	20				
7	27.0	31.3	21.0	10.3	35.5	14	15.0	7.12	64	166.2	38.5	5			終 雪	終 霜
8	27.6	31.6	21.1	10.5	36.0	2.3	17.5	25	62	489.0	192.5	28				
9	21.8	25.9	16.4	9.5	30.0	1.6	10.0	28	70	157.0	61.0	13				
10	17.3	21.2	11.2	10.0	25.5	25	4.0	27	68	105.0	34.5	14			4/12	2/29
11	11.0	15.9	5.9	10.0	22.0	1	1.0	14.17	74	81.5	24.5	1				
12	4.5	10.8	1.0	9.8	15.5	16	-3.5	7	83	78.5	32.5	5	12	2		
全 年	12.2	16.6	7.1	9.5	36		-6.0		61.5	1696.2	192.5		18			

* 気温 (平均・最高・最低)、湿度6/11~19、22~24 欠測

平成 8 年

本部試験地

月	気 温 °C								湿度 (%)	降 水 量 mm			積 雪 量		霜 雪 季 節	
	平 均	平 均			極					総 計	最 大		最 大 cm	日	初 雪	初 霜
		最 高	最 低	較 差	最 高	日	最 低	日			24時間	日				
1	2.6	9.1	-0.2	9.3	14.4	15	-5.0	28	86	39.0	20.5	15				
2	2.2	8.7	-1.0	9.7	21.0	14	-5.1	3	80	47.0	13.0	25	15	10		
3	6.6	12.6	2.6	10.0	19.0	21	-2.6	4	71	186.5	53.5	30	4	5	12/2	12/3
4	11.8	17.8	5.0	12.8	29.4	29	-1.1	4	59	37.7	18.7	16				
5	19.1	24.1	12.5	11.6	32.0	26	6.3	7	63	102.5	44.0	22				
6	23.4	27.3	19.3	8.0	32.0	16	10.9	6	79	240.0	44.5	26				
7	27.2	32.1	22.4	9.7	36.3	19	15.6	12	76	129.0	53.0	8			終 雪	終 霜
8	27.9	32.6	22.5	10.1	37.5	2	18.9	25	75	311.5	83.5	28				
9	21.9	26.8	17.3	9.5	31.3	5	11.5	28	83	163.5	62.5	13				
10	16.0	22.3	11.7	10.6	26.7	25	4.8	27	87	121.0	46.0	14			3/5	4/5
11	10.6	16.5	7.0	9.5	22.7	4	1.1	17	88	75.0	19.0	11				
12	4.4	12.2	1.1	11.1	17.8	16	-2.7	7	90	92.0	41.0	5				
全 年	14.5	20.2	10.0	10.2	37.5		-5.1		78.1	1544.7	83.5		15			

平成 8 年

白浜試験地

月	気 温 °C								湿度 (%)	降 水 量 mm			積 雪 量		霜 雪 季 節	
	平 均	平 均			極					総 計	最 大		最 大 cm	日	初 雪	初 霜
		最 高	最 低	較 差	最 高	日	最 低	日			24時間	日				
1	7.1	11.5	3.4	8.1	21.0	15	-1.0	28	68	55.5	15.0	15.22				
2	5.9	11.0	2.4	8.6	21.2	14	-2.0	22	69	42.0	9.5	25				
3	10.2	14.5	5.4	9.1	20.0	8.28	0.0	7	63	129.5	37.0	15			12/1	12/3
4	13.4	17.7	7.7	10.0	24.8	27	1.8	13	61	79.5	34.0	15				
5	20.0	23.6	14.4	9.2	28.2	26	9.0	7	68	65.5	38.0	1				
6	22.6	25.5	19.0	6.5	30.5	29	13.5	6	83	115.5	32.5	20				
7	27.0	29.3	21.8	7.5	33.5	23	17.5	9	78	262.0	102.5	8			終 雪	終 霜
8	28.2	31.3	23.1	8.2	33.8	1	21.0	25.26	72	78.0	18.6	27				
9	24.1	27.8	19.6	8.2	31.2	16	13.5	28	72	81.0	32.5	30				
10	*	*	*	*	*	*	*	*	*	113.0	39.0	3			4/12	2/22
11	14.5	18.2	9.9	8.3	24.2	4.9	2.0	14	71	108.5	50.0	27				
12	8.7	14.1	4.0	10.1	19.1	5	0.3	7	69	76.5	36.0	5				
全 年		18.7	10.9	7.8	33.8		-2.0		64.5	1206.5	102.5					

* 気温 (平均・最高・最低)、湿度10/14~24 欠測

平成 8 年

徳山試験地

月	気 温 °C								湿度 (%)	降 水 量 mm			積 雪 量		霜 雪 季 節	
	平 均	平 均			極					総 計	最 大		最 大 cm	日	初 雪	初 霜
		最 高	最 低	較 差	最 高	日	最 低	日			24時間	日				
1	3.2	9.1	0.2	8.9	14.4	15	-4.2	9	73	44.5	19.5	14				
2	2.2	7.7	-1.0	8.7	19.3	14	-6.7	2	74	72.5	15.0	25				
3	6.3	11.2	2.3	8.9	16.8	30	-2.1	6	66	213.0	64.5	15		12/1	12/3	
4	11.2	15.7	4.5	11.2	24.9	26	-1.0	3	54	102.0	27.5	30				
5	17.3	21.6	12.1	9.5	26.9	26	6.1	6	60	82.5	32.0	4				
6	23.8	26.4	20.9	5.5	31.7	16	17.1	19	75	483.5	114.0	20				
7	27.1	30.6	24.0	6.6	34.0	18	18.8	6	73	192.0	147.5	19		終 雪	終 霜	
8	27.6	31.2	23.8	7.4	35.2	2	20.2	25	71	202.0	165.0	14				
9	22.2	26.4	18.1	8.3	30.1	21	13.3	23	69	102.5	37.0	30				
10	16.0	20.7	11.5	9.2	25.0	1	1.6	27	69	35.5	8.0	12		2/10	12/29	
11	11.4	15.4	7.4	8.0	20.8	9	1.0	30	69	49.0	22.0	1				
12	5.3	11.2	3.0	8.2	15.7	15	-4.0	1	75	63.0	20.5	5				
全年	14.5	18.9	10.6	8.4	35.2		-4.0		69.0	1642.0	165					

7. その他

芦生演習林ガイド養成講座

近年、森林に対する関心が高まるなかで、一般の人たちに芦生演習林を深く知ってもらうためにガイドの必要性が出てきた。そこで今回、演習林主催による「芦生演習林ガイド養成講座」が平成8年11月22日（金）より夜間の午後6時から8時まで（ただし、11月29日の現地講義は午前8時30分から午後4時まで）、12項目のテーマを1回に2テーマを講義するプログラムで行われ、講師は演習林の教官及び技官が担当し、「森での安全管理」については園部消防署美山出張所長に依頼した。受講者は、美山町自然文化村、京都府芦生青少年山の家の関係者及び芦生演習林の職員の26名が受講した。

講座及び日程等は下表のとおりである。

	テ ー マ	講 師	日 時
1	講義にあたって、大学演習林の役割	神崎教授	平成8年
2	芦生演習林の概要（歴史・地誌・気候・地形・地質・土壌）	竹内教授	11月22日（金）
3	森の機能（水・土砂・災害などを中心に）	中島講師	11月29日（金）
4	芦生の森（世界・日本の中での位置づけ、森の特色・分布）	大島教授	
5	森の研究紹介	酒井教授	12月6日（金）
6	森の動物（クマ・シカ・野鳥・魚など）	高柳講師 二村技官	
7	森の昆虫	山崎助手	12月13日（金）
8	森と環境（レクリエーション、森林浴、保健機能を中心に）	柴田助教授	
9	森林、林業、地域興し	鹿取教官	12月20日（金）
10	森の仕組みと樹木の生活（主要樹種、草本、キノコ）	寄元助手	
11	コース別現地講義	大島教授	平成9年 11月29日（土）
12	森での安全管理（救急・消防・防火）	園部消防署 美山出張所長	12月11日（木）